

施設を出て社会人になった先輩があなたたちに役立つようにとお話をしてくれました。

不安と悲しみがありませんでした

家庭の事情で学校を休むことが多く勉強もできていませんでした。担任の先生と児童相談所の人が相談してわたしは施設に入ることになりました。

家族や学校の友達と離れて、知らない場所で生活することは、不安とつらい気持ちでいっぱいでした。あなたたちも同じような経験をしたことでしょうか。



守られた生活と仲間たちとの楽しい暮らしがありました

施設での生活はとても心配でしたが、施設では朝昼晩に暖かいご飯を食べることができ、学校にも毎日通うことができました。職員も優しく、とてもうれしかったことを覚えています。

これは、わたしが施設の職員に教えてもらったことですが、日本の国には子どもたちを守る^{じどうふくしほう}「児童福祉法」という法律があります。その中に、こんな内容が書かれていました。

1 すべて児童（あなたたちのこと）は、生活を保障^{ほしょう}されることや自立が図られることその他の福祉をひとしく保障される権利を有する。

2 すべて国民は、児童が心身ともに健やかに育成^{いくせい}されるように努めなければならない。

この約束事^{やくそくごと}があるので、施設で暮らすあなたたちは、良好な環境^{りょうこう かんきょう}の中で、知識と経験を積んだ施設の職員に、心身ともに健やで、りっぱな社会人として成長するよう育てられています。

わたしやあなたたちは日本の将来^{しょうらい}を担う重要な役割を持っているので、とても大事に育てられているのだと思います。わたしも、施設で暮らしていた時は、職員と口げんかを何度もしたことがありました。でも、大事にされていたことはしっかり記憶^{きおく}しています。

施設を巣立つあなたに 先輩として一言

わたし自身を振り返ってのことです。あなたたちの参考になるかな。

社会に出て、初めて医療機関に受診した時のことです。帰るときに窓口の人から支払いを求められて「どうしてお金が必要ですか」と質問しました。

医療保険や自己負担の仕組みなんて知らなかったので説明を受けやっと納得^{なつとく}しましたが、とても恥ずかしかったことを覚えています。

就職先でも同僚との挨拶^{あいさつ}や、先輩に仕事の相談^{せんぱい}をすることが苦手で上司から指導^{じょうし}を受けたことがありました。職場や社会では自分のことを理解してもらおうための努力がとても大切だと痛いほど感じました。



あなたたちは施設を巣立つまでにまだ時間がありますから、社会の約束事^{やくそくごと}や人との付き合い方をしっかり勉強^{べんきょう}してください。

そして、社会に出た後も、わからないことは周りの人に聞いて覚えてください。

たとえば、上司や先輩と直接会う時は、自分から声をかけ、わからないことや、疑問に思っていることを質問します。教えてもらった後に「ありがとうございます」とあいさつします。これだけのことで、とても気持ちが楽になるし、得た気持ちになります。

いろいろ言いましたが、わたしはいろんな人に出会えてとても楽しい日々を送っています。充実しています。そして、あなたたちに出会えることを楽しみに待っています。



<p>はじめに 00-02</p>	<p>わたしは2歳から18歳まであなたのそばにいました そして頑張り屋のあなたの未来を信じて送り出します</p>
<p>施設入所</p> <p>巢立ち</p>	<p>あなたは2歳の時に乳児院<small>にゅうじいん</small>から私が働いている施設に来ました。 乳児院の職員に手をつないでもらい、きよとんとした顔で私たちを見ていました。赤いポロシャツがとても似合っていて一目で大好きになりました。 数日間、めそめそして「帰りたい。帰りたい」と大きな粒<small>つぶ</small>の涙を流していました。</p> <p>それから15年がたち、今日はあなたが施設を巢立ち、会社の寮に入るための荷造り<small>にぶく</small>と一緒にしています。あなたのお気に入りのストリートファッションを段ボールに詰め、細かな生活用品も何度も確認しました。そしてレトルト食品を。 今はうれしさと寂しさが入り混じった不思議な気持ちです。</p> <p>小学校ではサッカークラブ<small>かつやく</small>で活躍し、足の速い点取り屋さんでした。パスを受けると一目散<small>いちもくさん</small>にゴールを目指してイノシシのよう<small>としん</small>に突進していました。女の子にも優しかったのでクラスの人気者でした。バレンタインのチョコレートがたくさん持って帰りましたね。</p> <p>中学生の時、いつもイライラしていました。施設を抜け出して、目的もなく街中をさまようこともありました。でも、学校だけは遅刻や欠席をしませんでした。高校1年生の時に何があったのか「学校をやめて働く」と涙を流して訴<small>うった</small>えました。そのあと1週間ほど部屋から出てきませんでした。</p> <p>高校2年生の時、担任の先生に「あなたは手先が器用だね。物作りに向いているね」とほめられことが自信になり、卒業後は小さな会社ですが機械<small>せいみつ</small>を操作して精密部品を作る仕事に従事する予定です。</p> <p>最近は、大人びた口をきき、どちらが年上かわからないほど成長しています。あなたには教えることが一杯あったのですが、ところどころ抜けてしまいました。大変申し訳ないと思っています。 施設を巣立つあなたに伝えたいことは沢山ありますが、一つだけ覚えておいてほしいことがあります。</p>
<p>大切な事</p>	<p>あなたはとても大切な存在です。わたしたちの宝物です。 これからも自分のことを大事に大切に生きてください</p> <p>そして困った時は必ず周りの大人に相談してください。 施設の職員、職場の上司、先輩、 親戚の人 だれでもかまいません。 大人はきっとよい知恵を出します。 安心してください。</p>  

はじめに 00-03	職員から「自立しなさい」「施設を出たら一人でごんばって生活しなさい」と励まされています。 なんとなくわかりますが、自立ってどんなことですか
「自立」 言葉の意味 それでは よくわから ないなあ～	<p>一般的な言葉の意味</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 他人の助けを借りないで自分の力だけで行うこと。 2 他人に支配<small>しはい</small>されないで独り立ち<small>ひと</small>することです。 <p>職員はあなたを心配して、励<small>はげ</small>ましたのですね。 でも、一人ではできないことが多くあります。全部自分でやるのはしんどいでしょね。 働くこと、食事を作ること、洗濯や掃除などの身の回りのこと、役所での手続き、人のお付き合い。 「自立」もそうだけど、正直、社会に出る不安が大きいですね。</p>
できること できないこと	<p>あなたは成長途中なので、自分が未成熟なことはわかるよね。 そして、あなたの「できること」と「できないこと」の区別もつくよね。 「できること」は自分でしっかりやり抜きましょう。そして 「できないこと」の解決は大人に協力を求めたらどうでしょうか。 ただし、ずっと任せるのはダメですよ。 時期がきたらあなたが自分で行う準備はしておきましょう。 それが、今あなたにできる「自立」だと思います。</p>
自立のため に必要な力	<p>発信力 あなたが暮らしの中で「解決できないことがあって困っている。手を貸してほしい知恵を貸してほしい」と周りの人に伝えて、協力を求める力です。 発信しないと、あなたが困っていることがわかりません。 発信するためには、あなたが自分のことを大事に思える気持ちと、暮らしをよくしたいと思う心が必要ですね。</p> <p>受信力 困っているあなたに対して大人が協力を申し出たら、それを気持ちよく受け入れる力です。だって、そのことであなたは暮らしの目標が達成できるのですよ。 周りの大人はあなたのことを、とても大事な存在だと感じて協力を申し出ているのです。ぜひ、受け入れてください。</p>
	<p>「一人だけで頑張ろう 独り立ちしよう」と強く思わないで 時には大人の力を借りてみましょう。</p> <p>そうすると 生活の不安が減り 生活することが楽しくなるし 人のことが好きになりますよ</p> 